



食肉処理工場における業務用エコキュートの導入による省エネ

この工場では、安全で安心な食肉を食卓にお届けするため、徹底した衛生管理を行っており、加工機器や作業場の洗浄用として、毎日200㎡という大量の温水を使用しています。この温水は、ボイラの蒸気により加熱し供給していましたが、A重油の価格高騰によるコスト上昇への対応が課題でした。

そこで、業務用エコキュートを導入し蒸気ボイラと併用するハイブリッドシステムとすることで課題を解決しました。また、業務用エコキュートの稼働状況をデータ収集し、分析することで更なる省エネにつながる取り組みが可能となりました。

■改善効果 (設計上試算)

- 従来のシステムと比べて
 - ・年間一次エネルギー使用量：12%
(原油換算32kℓ) 低減
 - ・年間エネルギー費用：60%
(1,400万円) 低減
 - ・年間CO₂排出量：25%
(174t-CO₂) 低減*

■設備概要

- 業務用エコキュート：80kW (能力) ×10台 (新設)
- ステンレス製高断熱型貯湯タンク：175㎡×1基 (新設)

※ 電力のCO₂排出係数：0.570kg-CO₂/kWh
A重油のCO₂排出係数：2.71kg-CO₂/ℓ

